

平成19年度事業報告書  
(平成19年4月1日より平成20年3月31日まで)

I. 事業に関する事項

1. 顕彰事業

1.1 C&C賞

(1) 受賞者の選考・決定

平成19年2月13日に開催された平成18年度第3回審査委員会、及び同3月7日に開催された平成18年度第3回評議員会及び第4回理事会において、2007年度C&C賞の募集要項及び募集から選考に至るスケジュールが審議・承認された。

これを受けて、平成19年4月13日に財団事務局から国内154名、海外116名の有識者宛に推薦依頼状を発信し、締切り期日の同5月31日までに、国内外あわせて27件の候補者(グループ)の推薦があった。これにより過去10年の累積候補者数は127件となった。

受賞者選考に当たっては賞の意義に照らして更なる慎重な選考を行うため、第一回審査委員会の前に予備審査委員会が平成19年6月26日に開催され、累計127件の候補者から6件に絞り込みが行われた。続いて平成19年7月10日に平成19年度第1回審査委員会が開催され、慎重な審議の結果、2007年度C&C賞受賞候補者として次の2グループ4名が選考された。

グループ A

Dr. Robert D. Maurer (元)コーニング社 リサーチフェロー

Dr. John B. MacChesney (元)ベル研究所 フェロー

伊澤 達夫 博士 東京工業大学 理事・副学長

(前)NTT エレクトロニクス株式会社 代表取締役社長

業績記:「低損失光ファイバーの研究開発に関する先駆的貢献」

グループ B

伊賀 健一 博士 東京工業大学学長、(前)日本学術振興会 理事

業績記:「面発光レーザの発明とその実現による光エレクトロニクス発展への貢献」

この選考結果を受けて平成19年7月26日に平成19年度第2回評議員会及び理事会が開催され、審査委員会原案の通り上記2グループ4名を2007年度C&C賞受賞候補者として内定した。

各候補者に連絡をとり、いずれの候補者も受賞を快諾され、ここに2007年度C&C賞受賞者を正式に決定した。

## (2) 表彰式典

2007年度C&C賞表彰式典を、平成19年11月28日(水)午後3時30分からANAインターコンチネンタルホテル東京において挙行了た。

まず贈呈式では、招待者と一般参加者計約100名の列席のもとで、末松審査委員長より受賞者及び受賞理由の発表があり、次に佐々木理事長より、4名の受賞者に、賞状、賞牌及び賞金目録が手渡された。続いて受賞者による受賞講演があり、その後、式典参加者を交えたカクテル、受賞者及び招待者によるディナーパーティーが行われた。

### 1. 2 C&C若手優秀論文賞

審査対象論文83件を平成19年10月3日から11月9日にかけて、独創性、有効性等の観点から予備審査を行い、その中から13件の受賞候補論文が選考された。これら受賞候補論文の中から、平成19年12月17日に開催された平成19年度第2回審査委員会において、2007年度C&C若手優秀論文1件が決定され、平成20年1月23日にNEC本社ビルで開催された助成会において、黒田貴之氏(東北大学情報科学研究科)に賞金20万円が授与された。

## 2. 研究助成事業

平成19年3月7日に開催された平成18年度第3回評議員会及び第4回理事会において平成19年度事業計画が審議され、前年までと同様に国際会議論文発表者助成、外国人研究員助成、若手研究員助成の実施が決定し、新たに博士後期課程進学者助成についても詳細を検討の上で実行することが決定した。研究助成費予算総額は平成18年度実績額に新規助成事業分を加味し、3,100万円とした。

### 2. 1 国際会議論文発表者助成

平成19年度国際会議論文発表者助成は、前年までと同様に前期と後期の年2回の募集(公募)を行った。応募と助成の実績は次表の通りであった。

	前 期	後 期	年間計
応 募 ( 名 )	104	68	172
助 成 ( 名 )	47	34	81
助成額(万円)	1,027	613	1,640

## 2.2 外国人研究員助成

平成19年度外国人研究員助成は、前年度と同様年一回公募による募集を行なった。助成者は平成18年11月14日に開催された平成18年度第2回審査委員会において3名を内定した。なお、助成期間は平成19年4月より1年間とし、助成額は1名あたり月額10万円で、年間120万円である。

応募(名)	10
助成(名)	3
助成額(万円)	360

## 2.3 若手研究員助成

平成19年度若手研究員助成も、前年度同様年一回公募による募集を行った。平成19年12月17日に開催された平成19年度第2回審査委員会において審査が行われ、3名が選考された。助成金は平成20年1月23日に開催された助成会において、1名あたり200万円が支給された。

応募(名)	13
助成(名)	3
助成額(万円)	600

## 2.4 博士後期課程進学者助成

今年度到新設された博士後期課程進学者助成については、平成20年度及び平成21年度進学予定者について公募による募集を行った。

平成19年12月17日に開催された平成19年度第2回審査委員会において審査が行われ、平成20年度、21年度進学予定者から各1名が選考された。

	平成20年度 進学予定者	平成21年度 進学予定者
応募(名)	15	9
助成(名)	1	1
助成額(万円)	200 (H20年2月支給)	200 (H21年2月支給)

なお、本助成事業については、翌々年度進学予定者に対して募集を行うこととしているが、今年度は初回の募集であるため、翌年度に進学を予定する平成20年度進学予定者についても募集を行った。

### 3. 調査研究事業

平成19年1月31日に平成18年度第2回調査研究運営委員会が開催され、平成19年度事業計画及び予算が審議された。その審議結果に基づいて、平成19年3月7日に開催された平成18年度第3回評議員会及び第4回理事会において、平成19年度事業計画及び予算が承認された。

平成19年4月20日付で、平成19年度調査研究(テーマ「地域情報化2.0」)を、株式会社国際社会経済研究所(社長:後藤哲郎、東京都港区三田一丁目4番28号)に委託した。

#### 【調査研究の主な成果物】

##### (1)「地域情報化2.0」調査研究報告書(3分冊)

株国際社会経済研究所 平成20年3月発行

- I. 海外住民データベースの状況と地域情報化の進展
- II. 新しい地域情報化システムの展望
- III. 地域情報化における情報アクセシビリティ

##### (2)成果発表会/報告会

###### 1) NEC C&C財団シンポジウム開催

テーマ: 「情報アクセシビリー国・地域・コミュニティの役割」

日時/場所: 平成20年1月15日/泉ガーデンコンファレンスセンター

後援: 日刊工業新聞社など

参加人員: 約100名

###### 2) NEC C&C財団セミナー開催

テーマ: 「さらなる地域情報化を目指して」

日時/場所: 平成20年3月6日/国際文化会館

協力: (財)社会経済生産性本部情報化推進国民会議など

参加人員: 約50名

### 4. その他の活動

財団事業の円滑な運営のために設けられたC&C活性化基金により今年度は以下の活動を行った。

#### 「C&C30周年記念シンポジウム」開催

1977年に小林宏治・当財団初代理事長(当時の日本電気株式会社・会長)が「コンピュータ技術とコミュニケーション技術」の融合を意味する「C&C」の概念を提示してから30年目を迎えることから、日本電気株式会社との共催でC&C30周年を記念したシンポジウムを開催した。

日時/場所：平成19年12月6日／東京ビッグサイト国際会議場  
内容：財団理事長挨拶 「C&C 宣言 30周年を迎えて」  
基調講演(坂村健氏)「イノベーション基盤としてのユビキタス」  
パネルディスカッション 「これからの C&C イノベーション」  
パネリスト：江崎浩氏、金子郁容氏、渡邊浩之氏、山田敬嗣氏  
コーディネーター：國尾武光氏  
参加人員：約1000名

## II. 総務に関する事項

### 1. 理事会・評議員会

平成19年度中に次の理事会及び評議員会が東京都港区白金台五丁目7番16号日本電気泉華荘会議室において開催され、各議案が審議・承認された。

(1) 平成19年度第1回理事会 (平成19年5月11日)

第1号議案 平成18年度事業報告書及び財務諸表承認の件

第2号議案 次期繰越収支差額処分の件

第3号議案 評議員委嘱同意の件

(2) 平成19年度第1回評議員会 (同上)

第1号議案 平成18年度事業報告書及び財務諸表受領の件

第2号議案 理事選任の件

(3) 平成19年度第2回評議員会 (平成19年7月26日)

第1号議案 2007年度C&C賞受賞候補者審議の件

第2号議案 寄附行為変更案審議の件

(4) 平成19年度第2回理事会 (同上)

第1号議案 2007年度C&C賞受賞者決定の件

第2号議案 寄附行為変更案承認の件

(5) 平成19年度第3回評議員会 (平成20年3月5日)

第1号議案 平成20年度事業計画案審議の件

第2号議案 平成20年度収支予算案審議の件

第3号議案 諸規定類新設・改正案審議の件

(6) 平成19年度第3回理事会 (同上)

第1号議案 平成20年度事業計画案承認の件

第2号議案 平成20年度収支予算案承認の件

第3号議案 諸規定類新設・改正案承認の件

## 2. 寄附行為の変更の件

平成19年7月26日に開催された平成19年度第2回評議員会及び理事会において寄附行為変更案が承認され、経済産業大臣殿宛に平成19年7月31日に寄附行為変更認可申請書を提出した。申請は同年8月14日付で認可され、同日から変更後の寄附行為が施行されることとなった。変更点は以下のとおりである。

名称： 変更前：財団法人C&C振興財団  
 変更後：財団法人NEC C&C財団

## 3. 理事および資産総額、ならびに名称変更の件

以下につき登記申請書を東京法務局に提出し、各々提出日に受理された。

- (1) 申請日：平成19年7月17日  
 内容： 理事および資産総額の変更
- (2) 申請日：平成19年8月17日  
 内容： 名称の変更

## 4. 平成19年度事業日誌

平成19年

- 5月11日 平成19年度第1回理事会および評議員会開催
- 5月25日 平成19年度前期国際論文発表者助成会開催
- 6月26日 予備審査委員会(2007年度C&C賞受賞者選考)
- 7月10日 平成19年度第1回審査委員会開催  
 ー 2007年度C&C賞受賞候補者の選考  
 ー 大学院博士後期課程進学者助成事業について
- 7月13日 平成19年度第1回調査研究運営委員会開催  
 議題1 平成18年度調査研究事業報告  
 議題2 平成18年度調査研究事業収支報告  
 議題3 平成19年度調査研究事業中間報告  
 議題4 平成19年度調査研究事業予算案
- 7月26日 平成19年度第2回評議員会及び理事会開催
- 11月 9日 平成19年度後期国際論文発表者助成会開催
- 11月28日 2007年度C&C賞表彰式典を挙げる
- 12月 6日 C&C30周年記念シンポジウムを開催
- 12月17日 平成19年度第2回審査委員会開催  
 ー 平成19年度C&C若手優秀論文賞受賞者の選考  
 ー 平成19年度若手研究員助成者の選考

- 一 平成20年度外国人研究員助成者の選考
- 二 平成20年度／21年度博士後期課程進学者助成者の選考

#### 平成20年

- 1月15日 NEC C&C財団シンポジウムを開催
- 1月23日 C&C若手優秀論文賞表彰及び研究助成会開催  
平成19年度C&C若手優秀論文賞受賞者表彰並びに、  
平成19年度若手研究員、平成20年度外国人研究員、  
および平成20年度／21年度博士後期課程進学者助成  
証書伝達
- 1月30日 平成19年度第2回調査研究運営委員会開催  
議題1 平成19年度調査研究事業中間報告  
議題2 平成20年度調査研究事業企画案
- 2月12日 平成19年度第3回審査委員会開催  
一 平成20年度事業計画の審議
- 3月 5日 平成19年度第3回評議員会及び理事会開催
- 3月 6日 NEC C&C財団セミナーを開催

この間、平成19年9月と平成20年3月に国際会議論文発表者助成の書類選考が審査委員によって行われた。